



平成 27 年度 画像保存セミナー

日本写真学会の画像保存研究会は、次世代に伝えるべき記録と価値ある写真画像、またその他の画像記録物の確実な保存を目指し、その知識の普及と技術の確立を目的としております。その主旨に則し、広く情報を発信する場として、1984年より画像保存セミナーを開催し、今年で32回目を迎えます。

画像保存研究会では、デジタルアーカイブ研究会と共催で、過去のセミナーで取り上げてきたコンベンショナルなパートと、扱う機会が増えてきたデジタルのパートの両面での保存について、参加者に有益となる知識ならびに最新の動向・情報を得ていただき、保有するコンテンツを最適な形で保存ならびに活用できるようになることを開催目的とします。今年度は、「保存のための管理運用保護」を主要テーマとして、多岐にわたる講演でセミナーを開催いたします。

例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をして頂ける懇親会を設けております。画像保存に関心のある方、関連分野の多くの方々のご参加を賜りたく、案内申し上げます。

日時：平成27年11月13日（金）

10時00分～17時10分（9時30分受付開始）

場所：東京工芸大学 芸術情報館メインホール

東京都中野区本町2-4-7

（地下鉄丸の内線・都営大江戸線 中野坂上駅より徒歩約7分）



主催 一般社団法人 日本写真学会

共催 学校法人 東京工芸大学

協賛 日本写真芸術学会／東京都写真美術館

一般社団法人 文化財保存修復学会／情報保存研究会

公益財団法人 日本博物館協会／一般社団法人 日本画像学会

一般社団法人 日本印刷学会／一般社団法人 画像電子学会

一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会

セミナープログラム

10:00 開会挨拶 セミナー実行委員長

10:05 講演 1. 保存の観点から見たデジタルアーカイブについて

株式会社 IMAGICA プロビジョニングカンパニーカンパニーマネジメント室マーケティングG 清野晶宏

10:35 写真や映像といった知的財産をデジタル化する流れは無視できなくなっており、昨今デジタルアーカイブに対する様々な取り組みがなされている。メディアやフォーマット、マイグレーションなど、保存の観点におけるキーワードを取り上げ、基礎的な知識の共有を行う。

10:40 講演 2. デジタルアーカイブとメタデータ

凸版印刷株式会社 総合研究所 秋元良仁

11:25 デジタルアーカイブにおいて、データを効率的に管理・運用するためにはメタデータ（データを説明するデータ）の活用が重要である。本稿では、メタデータ活用のための取り決めである標準化動向に焦点を絞り、その現状と課題について概観する。

11:30 講演 3. 法隆寺金堂壁画写真原板 撮影と保存の経緯

株式会社便利堂営業本部 西村寿美雄

12:15 昭和 10 年（1935）に法隆寺金堂壁画を記録した便利堂撮影の一連の写真は、昭和 24 年の焼損前のオリジナルの姿をうかがい知れる「唯一無二」の貴重な文化的資料である。撮影に至る経緯と、原板はどうやって 80 年後の今に伝えられたかを述べる。

－ 昼食休憩（75 分）－

13:30 デジタルアーカイブ研究会のご紹介

一般社団法人日本写真学会画像保存部会デジタルアーカイブ研究会

13:40 清野晶宏

13:45 講演 4. ボーンデジタルの時代における災害のデジタルアーカイブとその利用

立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 長坂俊成

14:30 東日本大震災において報道や防災機関等に加え被災者自身によって多くのボーンデジタルの映像やナラティブが記録された。それらのコンテンツを人類共有の財産として収集・保存し活用する戦略と方法、課題について「3 1 1 まるごとアーカイブス」の実践を踏まえ共に考える。

14:35 講演 5. ボーンデジタル映像の保存に関する諸問題

東京国立近代美術館フィルムセンター デジタル映画保存・活用調査研究事業班 三浦 和己

15:20 出雲大社「平成の大遷宮」を記録した映像を、およそ 60 年後を目処に実施されるであろう次回の大遷宮まで保存するために、幾つかのトライアルを行った。そこから見えてきたボーンデジタル映像の保存に関する諸問題について、映画業界における現況の紹介を中心に、フィルムアーカイブの視点から考察する。

－ 休憩（15 分）－

15:35 講演 6. ガラス乾板の整理と保全と情報化から見えてくるもの

東京大学史料編纂所 史料保存技術室 高山さやか

16:20 東京大学史料編纂所では、過去の史料蒐集にもちいられた大量のガラス乾板をデジタル化し、保存処置を施す事業を 4 年にわたりおこなってきた。本報告ではその調査概要を報告すると共に、獲得した知見に基づいて着手した、様々な史料に関するデータおよび画像データを格納・管理する史料情報統合管理システム構築の取り組みを紹介したい。

16:25 講演 7. 大容量化するデジタルコンテンツの管理を支える Amazon のクラウド・ストレージ

アマゾンデータサービスジャパン株式会社ストラテジック・アカウント本部

17:10 メディア・エンターテインメント部 堀之内 道仁

デジタルコンテンツの高画質化と、それに伴う大容量化により、クラウド・ストレージの存在がますます注目されている。本講演では、クラウド・ストレージの概要と活用法について、具体的な事例を交えて説明する。

17:10 閉会挨拶 日本写真学会会長

* 展示ブースを予定しています。（芸術情報館 1 階）

* 各講演時間には質疑・応答の時間を含みます。なお、講演者および他の参加者の迷惑となるだけでなく、著作権の問題を含みますので主催者以外の写真・ビデオの撮影、録音はご遠慮願います。

* 閉会后、講演者と参加者の自由な情報交換の場として懇親会（下記参照）を行います。奮ってご参加ください。

参加申し込みについて

セミナー参加費（講演要旨集代を含む）

日本写真学会および協賛学協会々員	……………	6,000 円
非会員	……………	8,000 円
学 生	……………	2,000 円

（日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。）

定 員 180 名（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい）

懇親会 講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、セミナー終了後に下記のとおり懇親会を開きます。参加ご希望の方は郵便振替用紙の該当欄にその旨ご記入の上、会費をお送り下さい。

日時：当日 11 月 13 日（金） 17 時 20 分より
場所：東京工芸大学 芸術情報館 3 階
会費：2,500 円

申込締切 平成 27 年 10 月 26 日（月）

申込方法 このプログラムに同封されている郵便振替用紙に、必要事項をご記入の上、セミナー参加費をお振り込み下さい。ご入金を確認した後、参加証をお送り致します。また、懇親会に参加ご希望の方は会費も合わせお振り込み下さい。

（郵便局備え付けの振替用紙でもお申し込み頂けます。その際は参加費区分、懇親会参加の有無を通信欄にお書き下さい）

日本写真学会ホームページ <http://www.spstj.org/> からも参加申込ができます。トップページの「最新イベント情報」、あるいは左肩「イベント」よりお入り下さい。その場合でも、参加費のお支払は、上記のように事前に郵便振込みでお願い致します。

なお、一旦振り込まれた参加費の返却は致しかねますので、参加のご都合が悪くなった場合には代理の方の参加等でご対処をお願い申し上げます。

送り先 〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内
(一社) 日本写真学会 Tel. 03-3373-0724
郵便振替口座番号：00130-6-72818 Fax. 03-3299-5887

日本写真学会にご入会下さい

この機会に、会員でない皆様には当学会に入会されることをおすすめします。
セミナー当日、受付に入会申込書がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。

年会費： 正会員 8,500 円 学生 3,000 円

一般社団法人 日本写真学会 事務局
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5
東京工芸大学内
Tel. 03-3373-0724 Fax. 03-3299-5887
URL <http://www.spstj.org>

このセミナーは、下記の組織で企画されました。

一般社団法人 日本写真学会

会 長：小林裕幸 副会長：小林和久 中野寧

画像保存セミナー実行委員会

委員長： 清野晶宏 (IMAGICA)

委 員： 上田耕一郎 (東京工芸大学)

大林賢太郎 (京都造形芸術大学)

小林裕幸 (元千葉大学)

高橋則英 (日本大学)

山口孝子 (東京都写真美術館)

大関勝久 (国立近代美術館)

河野純一 (元コニカミノルタ)

酒井健男 (アルメディアオ)

谷 昭佳 (東京大学史料編纂所)

吉田 成 (東京工芸大学)